



アドビシステムズ株式会社  
141-0032 品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

## アドビシステムズ社、 CREATIVE SUITE 5 PRODUCTION PREMIUM を発表

大幅なパフォーマンス向上と機能面での大胆な技術革新により、  
次世代ビデオの制作ワークフローを高速化

**【2010年4月12日】**

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグティーゲル、以下アドビシステムズ）は本日、ADOBE® CREATIVE SUITE® 5 PRODUCTION PREMIUM（Windows® 版 / Mac OS® 版）および各構成製品の提供が、2010年5月28日（金）から、アドビストアおよび全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて開始されると発表しました。アドビストアでは本日より予約受付を開始します。また、アドビストアでは4月12日（月）～6月30日（水）まで、Creative Suite 5 各製品の発売を記念して、「アドビストア限定5大特典キャンペーン」を実施します。（<http://www.adobe.com/jp/joc/store>）

Adobe Creative Suite 5 Production Premium は、Web、放送、また様々な端末に配信可能な、プロフェッショナル向けの動画・音声・インタラクティブコンテンツを作成するための包括的なソリューションです。画期的なパフォーマンス向上機能を満載し、映像制作ワークフローを合理化しました。ADOBE AFTER EFFECTS® CS5、ADOBE PREMIERE® PRO CS5、ADOBE PHOTOSHOP® CS5 EXTENDED（別途リリース参照）、ADOBE ILLUSTRATOR® CS5（別途リリース参照）、ADOBE FLASH® PROFESSIONAL CS5、ADOBE SOUNDBOOTH® CS5、ADOBE ONLOCATION™ CS5、ADOBE ENCORE® CS5、ADOBE FLASH CATALYST™ CS5（別途リリース参照）を含む主力 CS 製品の最新版で構成されています。

Adobe Creative Suite 5 Production Premium では、新たに Mac OS および Windows での 64 ビットのネイティブサポート、待望の Adobe Mercury Playback Engine、テープレスワークフローの拡張、最新の自動ロトスコーピングツールなどが実現しました。これらの機能は、映像制作ワークフローを高速化し、生産性を大幅に高めるとともに、ビデオ編集者やモーショングラフィックデザイナー、ビジュアルエフェクトアーティスト、放送とポストプロダクションのプロフェッショナルが、事実上すべての端末向けに、最高のコンテンツと魅力的なメディア体験を作り出すことを可能にします。

アドビシステムズ社 クリエイティブ ソリューション部門担当シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーであるジョン ロイアコノ（John Loiacono）は、「当社のプロフェッショナルビデオチームは、技術革新を続けてきましたが、Adobe Creative Suite 5 Production Premium では特に、パフォーマンスの向上を最重要課題としてきました。Mercury Playback Engine を始めとする数多くの機能を搭載し、ビデオ制作のワークフローを一段上のレベルへと高める画期的リリースとなっています」と述べています。

### 作業の大幅なスピードアップ

Adobe Creative Suite 5 Production Premium は、業界をリードする画期的なパフォーマンス

ス向上機能と技術革新によって、ビデオ制作のワークフローを高速化させ、業界標準をさらに高いものへと引き上げています。新登場の Adobe Mercury Playback Engine により、ユーザーは、プロジェクトをより早く立ち上げ、豊富なエフェクトの HD シーケンスをリアルタイムで洗練し、スムーズなスクラビングを楽しみ、複雑なプロジェクトをレンダリングなしに再生できます。この NVIDIA® GPU アクセラレーション対応 64 ビットネイティブエンジンにより、ユーザーは、多数のビデオレイヤーで、複数の色補正やエフェクトを適用する際、即座に結果を確認し、プロジェクトの解像度 (SD、HD、2K、4K) に関わらず、複雑なタイムラインや数千クリップもの長期のプロジェクトで、リアルタイム作業を行うことができます。

Adobe Premiere Pro、After Effects、Photoshop が Mac OS と Windows の両方でネイティブの 64 ビットアプリケーションとなったことで、ユーザーは、ハードウェアへの投資を最大限に活用し、より迅速かつスムーズに作業を行うことができます。Canon、Nikon、Panasonic などの最新のデジタル一眼レフカメラを含む、テープレスメディアのネイティブサポートの拡大により、業界最高のテープレスワークフローが実現します。対応のテープレスカメラで撮影された映像ファイルは、トランスコードやリラップなどの変換を行うことなく、そのままネイティブに編集ができます。また、P2、XDCAM EX、HD、AVCHD 向けの既存の機能に加えて、XDCAM HD 422、AVCCAM、DPX、AVC-Intra の新たなサポートと、RED のサポートが強化されています。

全米で 28 のテレビ局を運営するメディアグループ Hearst Television 社のエンジニアリング担当バイスプレジデントのマーティ ファウベル (Marty Faubell) 氏は、「Adobe Creative Suite Production Premium は、当社のクリエイティブサービス分野全体の中心的存在となっています。当社のクリエイティブ部署のスタッフは、CS5 の強力な新機能を活用したく、待ちきれない状態です。当社は現在、コンテンツ管理と当社の全プラットフォームへの配信を強化する、豊富なメタデータによるテープレスワークフローを実現するため、アドビシステムズ社との作業を急ピッチで進めています。Creative Suite 5 のパワーと高度な機能は、日々変化するビジネス環境の中で、効率性と競争力を高めることを目標とした当社の取り組みをさらに進化させます」と述べています。

### 最高のストーリーを作り出す

Adobe Creative Suite 5 Production Premium は、いくつかの新たな技術革新を活用し、クリエイティブな表現を強化しつつ日常的なタスクを簡素化することで、ポストプロダクションワークフローに大きなメリットをもたらします。After Effects に搭載された、Roto Brush (ロトブラシ) ツールは、Photoshop のクイック選択ツールのように機能します。これによって、ユーザーは、数分の 1 の時間で、極めて精密に、動画のマスク作成が可能です。Photoshop CS5 Extended ユーザーは、視聴者が驚くような 3D コンテンツを作成し、より自然に見えるように着色し、不要なオブジェクトを除去できます。Adobe Premiere Pro CS5 の自動シーン検出機能により、HDV テープから別個のクリップを作成し、シーケンスの無信号部分を即座に除去できます。また、Adobe Flash Catalyst CS5 によって、コードを書かずにインタラクティブなオンラインビデオポートフォリオを設計できます。待望のリリースとなる Flash Player 10.1 は、モバイル端末においてさらに優れた閲覧環境を実現できるよう最適化されており、端末本来の画像処理機能を活用することで、より表現力豊かで臨場感あふれる

ユーザー体験を実現できるよう設計されており、ビデオプロフェッショナルは、これを併用することで、モバイル端末をより効果的にターゲットとすることができます。

### 効率的なコラボレーション

Adobe CS5 Production Premium は、既存のツールセットやワークフローへ容易に組み込むことができ、ユーザーはより効率的なコラボレーションを行うことができます。アドビシステムズ社のツールによって、Adobe Premiere Pro CS5 と Apple Final Cut Pro や Avid Media Composer の間で編集データを双方向で交換できるため、アプリケーション間での素材の移動やプロジェクトでのコラボレーションを行うユーザーとワークグループには、最高の柔軟性がもたらされます。

Adobe CS5 Production Premium では、CS Review\* サービスとの連携機能により、ユーザーは、進行中の編集用下見フィルム、ストーリーボード、スタイルボード、編集済み作品のレビューを行うことができ、クライアントとチームによるレビューの煩わしさを排除できます。ユーザーは、Acrobat.com を通じ、プロジェクトに関する情報をチームメンバーと共有できる利便性の高いサービスを利用できます。これらはすべて、クリエイティブワークフローの主要な要素を高速化する新サービス、Adobe CS Live\* の一部です。CS Live オンラインサービスは、期間限定で無償提供され、現在は、Adobe CS Review、Acrobat.com、Adobe BrowserLab、Omniture の SiteCatalyst® NetAverages™、Adobe Story（英語のみで利用可能）で構成されます。CS Review との連携機能は、Adobe Premiere Pro CS5 の初期出荷バージョンでは提供されません。Adobe Premiere Pro で CS Review を使用するには将来のアップデートをインストールする必要があります。

製品に関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/production/>

### アドビストア提供価格（税込）

- これまでと異なり、本バージョンからは、Suite 製品のアップグレード版「C」（単体製品から Suite 製品へのアップグレードや、Suite 製品から Master Collection へのアップグレード）はアドビストアのみでの取り扱いになります。
- 本バージョンからは、すべての単体製品の特別提供版は (Photoshop Elements から Photoshop へのアップグレードなど)、アドビストアのみでの取り扱いになります。
- アドビストアでは、各製品のダウンロード版も提供しています。ダウンロード版は本体価格のみでご購入いただけます。

### ADOBE CREATIVE SUITE 5 PRODUCTION PREMIUM (Windows 版 / Mac OS 版)

■ 製品版 261,450 円 (本体価格 249,000 円)

■ アップグレード版「A」 98,700 円 (本体価格 94,000 円)

※ Adobe Creative Suite 4 からのアップグレード

■ アップグレード版「B」 134,400 円 (本体価格 128,000 円)

※ Adobe Creative Suite 2、または 3 からのアップグレード (Macromedia® Studio 8 及び Adobe Creative Suite Production Studio を含む)

■ アップグレード版「C」 176,400 円 (本体価格 168,000 円)

※対象となる単体製品からのアップグレード

■ **学生・教職員個人版** 83,370 円 (本体価格 79,400 円)

**構成製品**：Adobe Premiere Pro CS5 日本語版、Adobe After Effects CS5 日本語版、Adobe Photoshop CS5 Extended 日本語版、Adobe Illustrator CS5 日本語版、Adobe Flash Catalyst CS5 日本語版、Adobe Flash Professional CS5 日本語版、Adobe Soundbooth CS5 日本語版、Adobe OnLocation CS5 日本語版、Adobe Encore CS5 日本語版

#### **アドビシステムズ社について**

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。